

# 市議会だより



●介護予防普及啓発事業「アクア健康教室」

(主催 介護サービス課・男鹿市体育協会)

## ◆ 6月定例会審議日程 ◆

6月11日	本会議 (議案上程)
13日	本会議 (一般質問)
14日	本会議 (一般質問)
15日	本会議 (議案質疑)
18日	予算特別委員会
19日	常任委員会・分科会
20日	常任委員会・分科会
26日	議会運営委員会 本会議 (表決)

## 記事内容

6月定例会から	P 2～P 3
議案質疑	P 3
一般質問	P 4～P 7
予算特別委員会	P 8
常任委員会	P 9
編集後記・陳情等	P 10

6月定例会

国保税率の引き下げ!! 改正条例案を可決が共同で事業運営～

国保税率の引き下げ!! 改正条例案を可決が共同で事業運営～

平成30年6月定例会は、6月11日に開会し、6月26日まで16日間の会期で開かれました。この定例会では、国民健康保険税条例の改正案や5月18日の大雨被害に伴う災害復旧費を予算措置した一般会計補正予算(第1号)の専決処分案など、13議案が市長から提案され、全ての議案を可決、承認及び同意としました。また、最終日には議案3件を可決しました。

6月定例会

国民健康保険税条例の一部改正について

これまで、国民健康保険の運営は各市町村で行われており、被保険者の減少や高齢化、医療費水準が高く低所得者が多いなど、運営においては厳しい状況であり、全国的にも構造的な問題を抱えています。

こうしたなか、平成30年度から国民健康保険制度は広域化され、県と市町村の共同運営となり、県は財政運営の責任主体として中心の役割を担い、医療給付に必要な資金を市町村に交付することになりました。また、市では保険税を賦課徴収し、県が算定する国保事業費納付金を県に納めることとなります。

これらの状況を踏まえ、国

民健康保険特別会計において、事業運営に必要な保険税額について、平成30年度課税所得に基づき、保険収入見込み額を試算したところ、現行税率では必要な額を上回る見込みとなったため、医療給付分後期高齢者支援金分、介護納付金分について、それぞれ所得割率、均等割額、平等割額を引き下げる改正案が市当局から提案され、全会一致で可決しました。(改正前後の比較表3ページ参照)

複合観光施設「オガール」について

5月18日に「道の駅おがー」並びに「みなとオアシスおがー」の登録証伝達式が執り行われました。道の駅としては県内33番目となり、みなとオアシスについては、新たな拠点施設として「みなとオアシスおがー」として再登録されました。

永年勤続表彰

第94回全国市議会議長会定期総会において、次の4名の議員が永年勤続者として表彰されました。



船橋金弘議員(議員15年以上) 笹川圭光議員(副議長4年以上) 安田健次郎議員(議員25年以上) 三浦利通議員(正副議長8年以上)

可決した主な議案

- 債権管理条例の制定
《主な内容》市の債権管理の一元化に伴い、適正かつ効率的な債権処理について必要な事項を定めるために制定するものです。
他4件

- 国民健康保険税条例の一部改正
《主な内容》国民健康保険税の税率を所得割15・6%、均等割4万3千円、平等割3万円に改正するものです。

- 専決処分・補正予算
《主な内容》5月18日の大雨により被害を受けた農林水産業施設等の災害復旧費に伴う予算措置について専決処分をしたもので、歳入歳出それぞれ8千200万円を追加するものです。
他4件

- 補正予算
《主な内容》生活保護システム改善業務委託料162万円、いっのの教育あったかエリア事業費120万円、販路拡大支援事業費118万8千円、コミュニティ助成事業費補助金110万円、ユネスコ無形文化遺産登録関連事業費104万円などを措置したもので、歳入歳出それぞれ740万円を追加するものです。

米谷 勝氏 監査委員に選出

市議会議員の中から選出する監査委員に米谷勝議員を選出されたいとの議案が市長から提出され、採決の結果、全会一致で同意しました。

平成29年度一般会計決算の概要について
一般会計では、歳入総額173億213万円、歳出総額169億9千825万円となり、このうち繰越費及び繰越明許費に係る繰越財源を除いた実質収支は2億8千677万円の黒字決算となりました。
男鹿みなと市民病院事業会計では、一般会計繰入金金の減などにより、純損失は693万5千円と見込まれています。
5月18日の大雨による被害状況について
6月8日時点で、一般建物では土砂崩れ等による全壊が

住家2棟、非住家1棟、一部損壊が住家1棟、河川氾濫による床上浸水が住家4棟、床上浸水が住家18棟、非住家16棟。また、住家裏山等では山腹崩壊、法面崩落が23箇所発生、史跡脇本城跡では5箇所で崩落を確認しています。
このほかの被害状況は、
●公共施設/椿公民館倉庫1棟全壊、旧プールフェンス、部が破損
●上水道施設/配水管破損により、女川・増川地区の165戸で断水
●農地・農業施設/法面崩落、畦畔崩落等が13箇所、農道路

肩崩落、用水路埋塞等が24箇所、水稲育苗パイプハウス全壊1棟、半壊1棟。
●林道施設/山腹崩落1箇所、路盤材流出2箇所
●漁港施設/3漁港で泊地への土砂堆積を確認
●道路/国道3箇所、県道3箇所、市道27箇所に被害が発生。そのうち、法面崩落や冠水等で17箇所通行規制を実施
●河川/32箇所で護岸崩落等が発生。
被害総額については、現在調査中であり、今後、市民生活の安定が図られるよう、被害箇所の早期復旧に努めます。

- 国保特別会計(第1号)
《主な内容》歳入では保険税、県支出金及び繰入金を措置したもので、歳出では歯周疾患検診及び収納率向上特別対策事業費などを措置し、歳入歳出それぞれ492万1千円を追加するものです。
《その他》
●監査委員の選任
●字の区域の設置
《主な内容》県が施行した福米沢本内地区住居整備事業に伴い、同事業の施行区域内に新たな字の区域を設けるものです。
●市道の廃止・認定
《議員提出議案》
意見書3件

議案質疑

男鹿市債権管理条例の制定について

質疑 徴収の見込めない非強制徴収債権額について伺います。
答 平成28年度決算において、非強制徴収債権額は約4千100万円、内訳は老人ホーム入所者負担金、

市営住宅使用料、保育料、災害援護資金貸付金などになります。これらの債権については、市税などの公債とは違い、時効期間を経過しても債務者から時効の援用を受けなければ債権は消滅しないものであります。現状では居所不明など時効の援用があり、滞納線越となっている債権がありますので、木条例を制定し、適正かつ効率的な債権処理を行い、放棄すべき債権は放棄していくものであります。

○国保税率改正前後の比較表

Table with 4 columns: Category, Before, After, Change. Rows include Medical payment, Late elderly support, Subsidy for nursing care, and Total.

○改正後の税額計算の具体例

Table with 4 columns: Category, Before, After, Change. Rows include Medical payment, Late elderly support, Subsidy for nursing care, and Total.





安田健次郎 議員

介護保険について

介護保険制度が始まった当初は、加入していればお世話になる時はいくらか業になると思った方が結構います。ところが保険料は年々上がり、施設利用料は月10万円前後の場合があります。本市の保険料は県内13市の中で一番高く、引き下げが市民の強い願いであり、対策を検討すべきではないか。また、利用料への支援や援助の必要性について市長の考えを伺います。

健康寿命の延伸を目指し、健康ポイント事業や介護予防対策セルフケア講座などに取り組んでいます。支援対策については現在のところ独自の支援については考えていません。

市民要望の対応について

市民要望で多く挙げられるのが国保税の引き下げや職場の確保対策などです。また、道路に係るカーブミラーや排水、草刈りなど、特に五里合高屋地区のガ-

ドレールの設置は早急に対応すべきと思うが市長の見解を伺います。

国保税については健康寿命日本一を目指し、健康診査や健康相談による重症化予防、また健康ポイント事業の活用により健康管理に対する意識の向上を推進していきます。職場の確保についてはトップセールスによる企業訪問など誘致活動に努めます。五里合高屋地区のガドレールは、県で土地改良事業での設置に向けて検討する予定です。道路に係る要望は年間400件程あり、現地調査をし、限られた財源のなかで計画的に対応します。

農業対策について

今年から食料適正作付について市や農業団体任せになっていますが、全国の作付動向によっては米価の暴落が指摘されている面もあります。市の対応や責任などについて伺います。また、地力作物の転作除外や湛水設備の不備などによる耕作放棄地・遊休農地の発生等の影響について伺います。

本年5月末現在の水稲作付面積は2千387haであり、生産目安2千428haを下回っていることから、需要に応じた生産ができるものと考えています。自己保全管理水田は690haとなり遊休農地も増える傾向です。

行政改革について

平成23年度に実施した光ファイバー通信網(市負担2億8千200万円)の投資効果について伺います。

本事業により、地域間の情報格差が是正されており、今後とも業務の効率化や地域の経済活動等への活用を推進していきます。

市議会議員一般選挙における20歳未満の有権者の投票率は37.68%です。また、20歳未満の有権者を除いた投票率は69.34%で74.44%だった平成26年の前回選挙と比較すると51ポイント減少しています。

【その他の質問】

- 男鹿市内関係避難施設等の高齢者・外国人対応トイレ洋式化
● 船川地区以外の病児病後児保育サポート体制の充実促進について
● 不法投棄・密漁・熊・農作物盗難等の監視に男鹿市公用車等ドローンプロクター活用提案について
● 保管文章の電子文書化・クラウド化・ICT化導入提案について
● 市イベント動画・画像をSNS投稿による取入増進提案について
● 図書館情報システム改善・電子化ネット回覧活用促進について



進藤 優子 議員

健診について

特定健診の受診率を向上させることで、保健指導、生活習慣の改善、生活習慣病の予防を行うことができ、医療費の抑制や健康寿命の延伸につながるものと考えますが見解を伺います。

健康ポイント事業の周知や特定健診の受診徹底の実施、医療機関との連携を強化し、受診率向上に努めます。

B型及びC型ウイルス性肝炎対策として、肝炎ウイルス検査の受検を促していくべきと考えますが見解を伺います。

県中央保健所や市内医療機関で実施できる無料検査及び、検査結果が陽性の場合の精密検査や定期検査費用の助成制度の周知を図っていきます。

防災対策について

大雨が降るたび、浸水する地域の河川の改善や対策等について伺います。

街なかには休憩場所やトイレの設置を！

船川地区の高齢者の多くは、歩道等に椅子付きの休憩場所やトイレを整備してほしいとの要望が強いが市の考えを伺います。

総合計画において中心市街地の歩いて暮らせるまちづくりの推進を掲げていることから財政状況を考慮しながら環境整備を検討します。

「男鹿駅周辺土地利用基本計画」早期に具体的計画を

今年度の新規事業でオガールの開業、男鹿駅の移転による新たな人の流れ、中心市街地の賑わいやふれあいを創出するための計画としているが具体的などう進めようとしているのか伺います。

男鹿駅の移転、オガールのオープンとの相乗効果により、人が集い、賑わいの創出が期待できることが、機会を逃すことなく、駅周辺から商店街エリア全体の魅力向上や、賑わいづくりに重点を置き、用地利活用の検討を推進して

一部改修がされていない比治川、船川については、引き続き県へ改修要望を、管理河川については優先順位を見極めながら対策を検討します。

マンホールトイレの整備については、下水道の耐震化や避難所のマンホールの状況なども勘案しながら検討します。

地域や職場の防災力向上のため、防災士の資格取得に助成をし、防災士を養成する考えについて伺います。

防災士の資格取得を周知し、育成普及に努め、地域防災力の向上につなげていきます。

被災後の災害支援ボランティアの考え方について伺います。ボランティアセンター設置の中心的役割を担う社会福祉協議会と連携し、設置基準・活動基準を協議していきます。

婚姻届・出生届について

市のPRにもつながるようなオリジナルの婚姻届や出生届を作成し、市民の新たな門出をお祝いできないか伺います。

最近話題の「インスタ映え」するようなお上天をしたい。楽しみにしてください。

オガールと地域振興策に海釣り施設を！

港に家族連れで楽しめる海釣り施設の設定が全国的に広まっています。国交省でも周辺への賑わいの波及効果も期待できるため、支援策を検討しております。オガールの向かいには海であり、最適地と考えますが見解を伺います。

本市は全国有数の海釣りのメッカとして知られ、多くの釣りが訪れており「釣り」は本市の観光振興としても重要なウエイトを占めていると認識しています。国交省では、港湾の活用を促進する施設や、防波堤の活用を進めるとしており、県では民間団体との連携により秋田港を活用した実証実験を行うと伺っています。国・県の動向を注視しながら必要性・有効性等について研究をしっかりと、夢ではなく現実に進むようにできればと思っています。



佐々木克広 議員

河川氾濫・津波を含む自然災害等への備えについて

防災行政無線放送・テレドーム・Eメール送信の実態及び周知の現状について伺います。

防災行政無線の放送内容が、テレドームに随時更新されているが、録音の仕様については、今後、広報誌や市ホームページ、地区で実施される防災講習会等で再度周知を図ります。

重要水防・二級水系「船川」の県水位監視システム登録・氾濫監視用水位計設置の必要性について伺います。

大雨時、市道が冠水する被害が頻発している箇所もあることから、増水時の警戒、災害対策の迅速化を図るため、県へ水位計の設置について働きかけていきます。

男鹿市財政再建について

船川港等市内保税地域新増設提案について見解を伺います。今後、船川港を活用した外国貨物の内容及び取扱量などを

# 特別委員会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会、付託された一般会計及び国民健康保険特別会計の平成30年度補正予算案について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員会で質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

## 今後の国保事業財政運営について

**質疑** 平成29年度国民健康保険特別会計の決算見込みについて伺います。

**答** 歳入は約48億5千900万円、歳出は約46億2千700万円、歳入歳出差引額で約2億3千200万円の剰余金が発生すると見込んでいます。

**質疑** 国保財政調整基金の取り扱い、今後の国保事業財政運営について伺います。

**答** 今後2年間に渡り、財政支出として約1億6千万円の国への負担金清算が見込まれていますが、また、国保税としての収入額も年々落ち込むことが予測され、現在のレベルでいくと数年後には再度、税率を改正しなければならぬ状況となります。国保財政調整基金を財源として、改正税率を少しでも長く維持す

ることが、財政運営方針となっております。

## 5月18日の大雨被害の復旧について

**質疑** 災害復旧に係る補正予算の内容と国・県の補助割合について伺います。

**答** 補正予算の内容としては、速やかな土砂除去や二次被害防止のため、応急処置を施す手数料などが中心となります。国・県の補助対象となるような規模の災害については、設計業務委託料を措置しています。この設計に基づいて国や県の災害査定を受けた後、復旧工費が決定することになります。

**質疑** 個人所有の災害復旧への対応や個人負担割合の軽減に係る考えについて伺います。

**答** 道路や水路等農業用施設災害の場合は、国の補助率は65%で個人負担が35%となります。事業申請にあたって

は復旧に要する経費が40万円以上となるものが対象となります。40万円を超える規模の場合、自らが杭を打ったり板を充てることで現場復旧できるものには原材料の支給をしています。

また、他の車の通行の妨げになるような土砂の流出等があった場合は、速やかに復旧する必要があるため、土砂除去の対応をしています。

## いのちの教育あったかエリア事業について

**質疑** 事業目的及び具体的な取り組みについて伺います。

**答** 本事業は生命尊重を中心とした道徳教育を「いのちの教育」として推進し、地域や家庭、地域が連携し、学校社会全体で命の大切さについて、意識の高揚を図ることを目的とする県の事業であり、県教育委員会の事業実施依頼を受け、美里小学校と潟西中学校が取り組みの中心です。主な活動は、福祉奉仕を題材とした講演会、福祉施設への訪問、保護者等を対象とする家庭教育講演会などであり、事業実施後は取り組みの内容・成果を県内の各小中学校へ発信していくものです。

## 「男鹿のナマゲ」ユネスコ登録後の取り組みについて

**質疑** ユネスコ無形文化遺産登録後の観光客増を見据え、柴灯まつり等における「おもてなし」、利便性等の向上を図るための今後の対応について伺います。

**答** 登録後は多くの方が男鹿市に見られることが期待されます。

なまげ柴灯まつりにおいても「おもてなし」の強化が必要になってきます。今年には会場に大型ビジョンを設置し好評を得ましたが、経費が掛かったのも事実です。柴灯まつりにおいては多くの方から協賛金をいただいで運営しており、駐車料金についても協力金をいただくとともに、今後は「おもてなし」の部分が高めるため、協力金のあり方について、駐車料金としてではなく、来場者一人ひとりから協力金をいただくという案も考えています。それらを踏まえ次回への対応について考えていきます。

## 危機的な財政状況について

**質疑** 過去には約18億円もの財政調整基金が積み立てられていたが、その要因は本市の

財政事情が好転したわけではなく、国の施策によって財源が増えたものと認識されています。財政調整基金を取り崩し、各特別会計、企業会計へ繰入れを行っており、本市の財政事情は危機的な状況と感じています。市の見解を伺います。

**答** 現在の財政調整基金残高は約4億円、この5年ほど毎年2億円ずつ減らしてきています。

財政調整基金は、市税等の歳入で賄えない緊急時に活用するものであり、予算編成のために基金を取り崩すのは、本来の基金の意味合いから外れた使い道だと思っています。収入と支出のバランスをいかにかつていくか、基金を取り崩さず予算編成ができる形に持っていかなければいけないと考えています。

**質疑** 補助金について、市町合併後、市の補助事業も増加してきており、そのことも財政事情悪化の一因となっているのではないか。

**答** 今年5月に「男鹿市補助金の見直しに関する指針」を策定し、それを基に交付団体への補助を見直していく作業を進めている状況です。

# 委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。

質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

## 総務

**質疑** 地域活性化に伴う国・県の事業を市民団体が行う際の支援について伺います。

**答** 市では、国・県の助成事業を市広報誌やホームページ等で周知し、市民団体が事業へ取り組む際には、相談に応じ、出来る限りの支援をしています。

**質疑** 今回提案された補正予算案は、財政調整基金を取り崩して財源としています。現在の財政調整基金の状況について伺います。

**答** 平成29年度決算剰余金のうち1億5千万円を基金に積み増しました。一方、補正予算の財源として8千519万円を取り崩したため、財政調整基金残高は、約4億4千万円となっています。

財政調整基金残高は最も多い時で約18億円ありましたが、

最近では毎年約2億円ずつ取り崩している状況で、収入と支出のバランスを欠いていたと思えます。今後は収支の均衡を図り、財政調整基金に頼らない予算編成をしなければならぬと考えています。

**質疑** 新男鹿駅前広場整備費用負担の考え方について伺います。

**答** JRで整備した遊歩道等については、これから策定する「男鹿駅周辺土地利用基本計画」に組み入れない場合は、当該整備費用を用地購入費に上乗せされないように交渉していきますが、利用計画に組み入れる場合はある程度の上乗せが必要と考えています。駅前広場はJRにとっても必要な施設と認識しており、そういうことも踏まえて価格交渉をしていきます。

## 教育厚生

**質疑** 国保特別会計補正予算において、新規事業である歯周疾患検診の事業内容について伺います。

**答** 歯周病は動脈硬化や糖尿病など生活習慣病との関連

があることから、歯科検診を実施することにより、歯周病を早期発見することで生活習慣病の防止につながる、医療費の削減や健康寿命の延伸につながることを期待するもので、被保険者のうち平成30年度中に40歳、50歳、60歳、70歳に到達された方を対象に、歯科検診にかかる費用のうち、人当たり4千320円を負担するもので、10月から実施します。

**質疑** 男鹿市における生活保護世帯と他市町村との比較について。また、自立にむけたの支援策について伺います。

**答** 5月末現在の生活保護世帯は492世帯です。生活保護率は2.44%で県内で一番高い状況であります。

また、受給者が自立できるよう、就労支援員を対象に、可能性のある受給者を対象に、履歴書の書き方や、模擬面接さらにはハローワークへ同行するなど、就労に向けた支援を行っています。

平成29年度は10名の受給者が就労し、うち2名が生活保護の廃止に至っており、平成30年度もこれまで3名の受給

## 産業建設

**質疑** 観光タクシー事業の内容、利用者見込数について伺います。

**答** 現在秋田市で運行されている秋田市観光マイタクシーに、男鹿市の観光地を盛り込み、男鹿への周遊観光を促すとともに、来訪手段を追加することで観光客の交通利便性の向上及び観光客の増加を図るものです。男鹿を終着地とするコースも調整中であり、市内宿泊客増加に向けたコース設定に取り組んでいきますと考えています。利用者見込数については、8月から実施予定であることから、秋田市の8〜3月の見込数の2割程

者が就労に結びついています。

**質疑** 介護保険特別会計決算剰余金を施設サービス利用料援助に活用する考え方について伺います。

**答** 介護保険料の減免については、保険料を財源に行うこととなりますが、施設サービス利用料への援助については、一般会計となることから、特別会計だけで解決できるものでありません。

援助を必要としている方の把握や財政局との協議が必要と考えています。

度が男鹿市に訪れると見込んでいます。

**質疑** 特産品等情報集積発信業務の活用持続性、将来展望について伺います。

**答** 民間事業者が提供する市町村別情報発信ウェブサイトを「とむすび」を活用し、市内で生産される多様な産品の情報や観光情報をデータベースとして提供することで市内事業者の販路拡大を後押しし、男鹿の地場産品や知名度を向上させることで、地域経済の活性化を図るものであり、運用を来年度までの2年間とし、成功事例を見ながら、その後について、事業者からの継続希望の意向、有益性を考慮して検討していきたいと考えています。

**質疑** 5月18日の大雨被害による農地農業用施設災害復旧事業の補正予算について伺います。

**答** 災害復旧補助事業に申請を予定している箇所を査定するの向上及び観光客の増加を図るものです。男鹿を終着地とするコースも調整中であり、市内宿泊客増加に向けたコース設定に取り組んでいきますと考えています。利用者見込数については、8月から実施予定であることから、秋田市の8〜3月の見込数の2割程

# 議会報告会を開催します！

男鹿市議会では、議会の役割や責任を明確にし、市民に開かれた議会のあるべき姿を定めた「男鹿市議会基本条例」を制定しています。

市政の諸課題に柔軟に対処するため、市民と市議会議員が自由に情報及び意見を交わす場として議会報告会を開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。



▲昨年開催された男鹿中地区議会報告会

開催日	時間	会場	出席議員 (○は代表者)
8月4日(土)	10時～	戸賀市民センター	《1班》 船橋金弘・吉田清孝 三浦利通・笹川圭光 伊藤宗就・○安田健次郎
	13時30分～	北浦市民センター	
	16時～	男鹿中公民館	
8月4日(土)	13時30分～	船越公民館	《3班》 佐々木克広・進藤優子 畠山富勝・船本正博 米谷勝・○小松穂積
	16時～	五里合公民館	
	18時～	若美コミュニティセンター	
8月7日(火)	9時30分～	椿市民センター	《2班》 鈴木元章・古仲清尚 中田謙三・中田敏彦 佐藤巳次郎・○佐藤誠
	13時30分～	船川港公民館	
	16時30分～	脇本公民館	

お問い合わせ／男鹿市議会事務局 TEL 24-9150

## 平成30年9月定例会日程 (予定)

月	日	曜日	会議名	主な内容
9	3	月	本会議	決算特別委員長報告 (公営企業会計) 質疑、討論、表決 市長提出議案上程 (提案理由の説明)
	5	水		一般質問
	6	木		一般質問
	7	金		一般質問
	10	月		議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託 決算特別委員会設置・付託
	11	火	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
	12	水	決算特別委員会 (一般・各特別会計)	付託議案の審査・質疑・討論・表決
	13	木		
	14	金	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査 (総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)
	18	火		
21	金	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決	
		議会運営委員会	最終日の運営について	
		本会議	各委員長報告 (総務・教育厚生・産業建設・予算特別・決算特別) 質疑、討論、表決	

### 陳情

- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
- 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書
- 地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める陳情書

### 意見書

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書

3件が可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

▼7月1日には、男鹿市複合観光施設オガレ(道の駅おが)が、グランドオープンしました。男鹿駅周辺整備基本計画からスタートした「男鹿の拠点づくり」。開業後の賑わいぶりから、関心の高さが伺えるとともに、農業、漁業、観光業等、諸産業の振興・発展が期待されています。

▼市では、オガレの開業、JR男鹿駅の移転に伴い、駅周辺土地利用基本計画を策定中です。議会においても、今後、その内容を精査・審議すると共に、当該事業に関する適宜・適切な対応に努めて参ります。

(古仲清尚)